

Kansai Economic Insight Monthly

2017/8/24

Vol.52 July/August

・ APIR “Kansai Economic Insight Monthly”は、関西経済とそれに関連する中国経済の動向に関する分析レポートです。

・ レポート公開時期は毎月第4週火曜日を予定しています。

・ 執筆者は、稲田義久(甲南大学教授、APIR 数量経済分析センター長)、木下祐輔(APIR 調査役)・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet (各 APIR 研究員)及び豊原法彦(関西学院大学教授)です。

・ 本レポートにおける「関西」は、原則として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県です。統計出所を発表している省庁などが「近畿」としている場合も「関西」に統一しています。

目次

要旨	1
関西経済のトレンドとCI, CLI	2
景気の現況	3
関空モニター	9
中国景気モニター	10
主要月次統計	13
Release Calendar	14

要旨

-景気は足下、先行きともに緩やかな回復を見込む*-

- ✓ 6月の鉱工業生産指数は2カ月ぶりの前月比プラス。結果、4-6月期は2四半期ぶりの増産となった。
- ✓ 7月の貿易収支は6カ月連続の黒字となった。しかし、黒字幅は2か月連続の前年比マイナス。中国向けの科学光学機器を中心に輸出額が増加したが、エネルギーを中心に輸入額も増加したためである。
- ✓ 7月の消費者態度指数は前月比横ばいだが、景気ウォッチャー現状判断DIは3カ月連続の改善。インバウンド消費や天候要因等が景況感を押し上げた。一方、酷暑による客足の減少や秋物商戦への影響懸念から、先行き判断DIは4カ月ぶりに悪化。
- ✓ 5月の関西2府4県の現金給与総額は3カ月連続で増加。「関西コア」賃金指数も2カ月ぶりに改善したものの、依然として賃金の伸びは弱い。
- ✓ 6月の大型小売店販売額は2カ月ぶりの前年比プラス。うち、百貨店はインバウンド需要の好調に加え、夏のバーゲンの前倒しが売上に貢献した。スーパーは、平年より低温の影響で夏物衣料と季節の農産物が苦戦した。
- ✓ 6月の新設住宅着工戸数は前年同月比-5.4%となり、先月から再び減少に転じた。利用関係別にみると、持家は4カ月連続のマイナス。分譲は5カ月連続のマイナス。一方、貸家は2カ月連続の増加となった。
- ✓ 6月の有効求人倍率は5カ月連続で改善。新規求人倍率は3カ月ぶりに低下したものの、労働需給は引き締まった状態が続く。完全失業率は2カ月ぶりに改善し、雇用環境は好調である。
- ✓ 7月の公共工事請負金額は前年同月比-31.3%と2カ月連続のマイナス。季節調整値で見ると、前月比+7.1%となり、3カ月ぶりのプラス。
- ✓ 7月の関空への訪日外客数は65万5,140人と前年比+13.0%となり、5カ月連続のプラス。4カ月連続で2桁増が続いている。
- ✓ 中国7月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.4と4カ月ぶりに前月から低下したが、12カ月連続で景気判断の分岐点である50を上回った。

※景気の基調判断はAPIR(豊原法彦関西学院大学教授)開発の関西景気動向指数(CI, CLI)に基づいている。
関西全体のCI, 試作CLIの推移は2ページを参照。

【関西経済のトレンド】

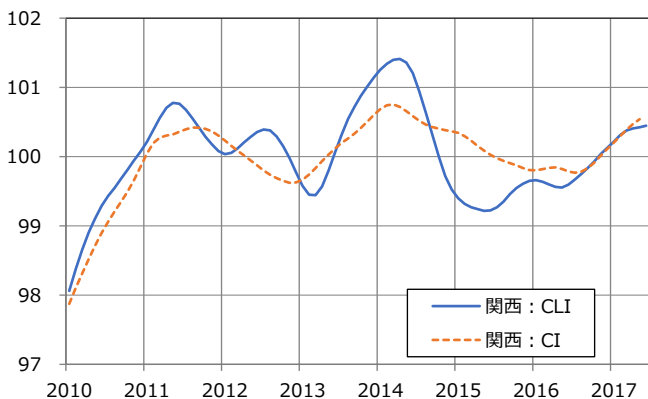
	2016年							2017年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
生産	↘	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗		
貿易	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↘	↗	
センチメント	↗	↘	↘	↗	↗	↗	↘	↗	↘	↗	↗	↗	↗	
消費	↗	↘	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	↗	↗	↗		
住宅	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↘	↗	↘		
雇用	↗	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗		
公共工事	↗	↗	↗	↘	↘	↗	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↘	
中国	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗	

(*トレンドの判断基準)

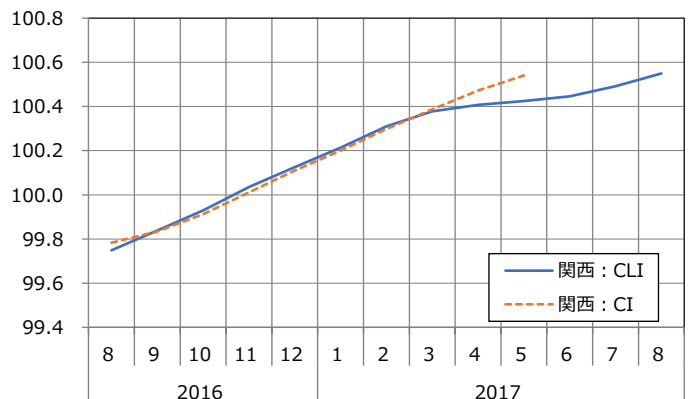
- ・ **生産**：近畿経済産業局『近畿地域臨工業生産動向』生産指数(季節調整値)が前月比+0.5%以上であれば上向き、同-0.5%未満であれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **貿易**：大阪税関『貿易統計』の近畿圏貿易収支(入出超過)前年同月から500億円以上の改善は上向き、同500億円以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **センチメント**：内閣府『景気ウォッチャー調査』の近畿現状判断(方向性)DIが前月比で1ポイント以上の改善は上向き、1ポイント以上の悪化は下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **消費**：近畿経済産業局『大型小売店販売状況』(全店ベース)が前年同月比で1%以上増加していれば上向き、同1%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **住宅**：国土交通省『住宅着工統計』新設住宅着工戸数が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。
- ・ **雇用**：厚生労働省『一般職業紹介状況』有効求人倍率(季節調整値)が前月比で0.01ポイント以上の改善は上向き、変化がなければ横ばい、0.01ポイント以上の悪化は下向きとする。
- ・ **公共工事**：西日本建設業保証株式会社『公共工事前払金保証統計』公共工事請負金額が前年同月比で5%以上増加していれば上向き、同5%以上悪化していれば下向き、それ以外は横ばい。

【関西の景気動向指数(CI一致指数・試作 CLI)の推移】

CI一致指数・試作 CLI の推移(2010年1月~2017年8月まで)



直近1年間の推移(2016年8月~2017年8月まで)



【鉱工業生産動向】

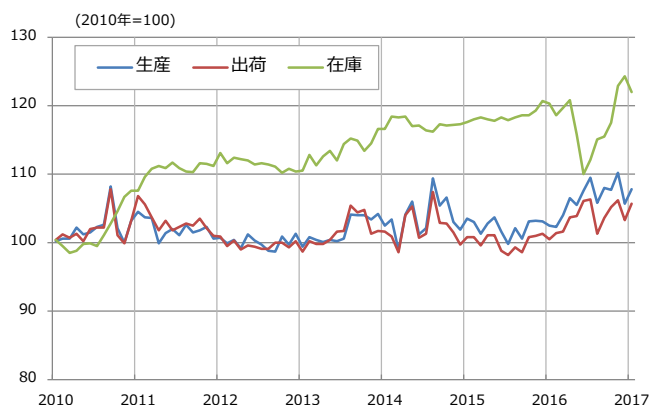
(1) 関西の生産動向

関西 6 月の鉱工業生産動向(速報値：季節調整済、2010年=100)によれば、生産は 107.8 で、前月比+2.0%と 2 カ月ぶりの上昇。出荷は 105.7 で同 2.3%と 2 カ月ぶりの上昇。結果、在庫は 122.0 で同-1.9%と 7 カ月ぶり下落。なお、生産と強い関係がある実質輸出(季節調整済、2010年=100)は 105.9 で、6 月は前月比+2.7%と 2 カ月ぶりに上昇した。

業種別に生産指数をみると、金属製品(前月比+33.8%、4 カ月ぶり)、電子部品・デバイス(同+10.1%、4 カ月ぶり)、輸送機械(除・航空機・鋼船・鉄道車両)(同+4.1%、2 カ月ぶり)等が増産となった。一方、はん用・生産用・業務用機械(同-4.8%、3 カ月ぶり)、情報通信機械(同-11.9%、2 カ月連続)、電気機械(同-1.2%、2 カ月連続)等が増産となった。

結果、4-6 月期は前期比+0.7%となり、2 四半期ぶりのプラス(1-3 月期同-0.3%)。近畿経済産業局は 6 月の基調を「総じてみれば、生産は持ち直しの動きで推移している」と判断している。

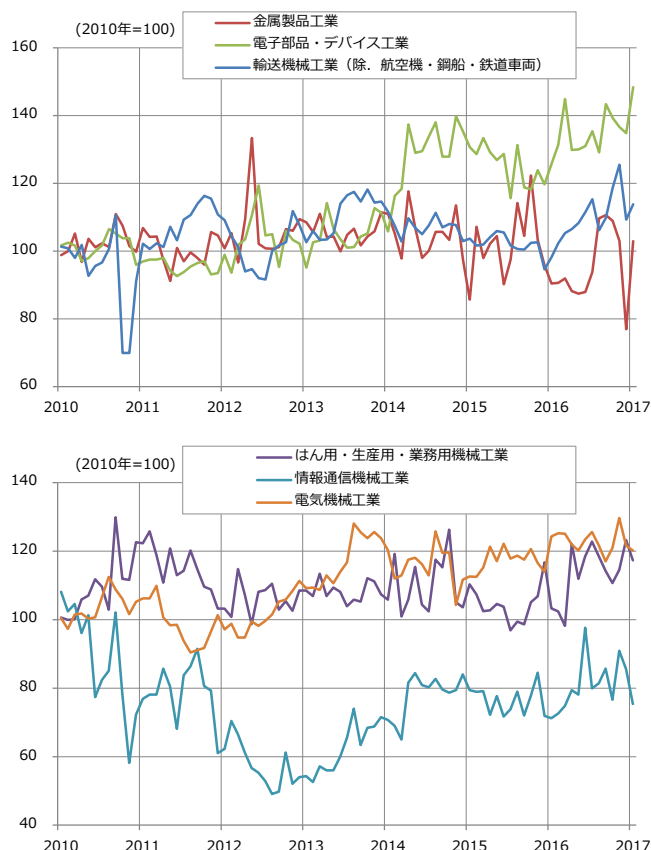
関西の鉱工業生産動向の推移(2017 年 6 月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

関西の業種別生産指数の推移(2017 年 6 月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

(2) 全国の生産動向

全国 6 月の鉱工業指数(確報値：季節調整済、2010年=100)の動向を見ると、生産は 102.3 となり前月比+2.2%と 2 カ月ぶりの上昇。出荷は 100.7 で同+2.5%と 2 カ月ぶりの上昇。結果、在庫は 109.1 で-2.0 と 7 カ月ぶりの下落となった。

業種別にみると、輸送機械(前月比+5.6%)、電気機械(同+5.9%)、はん用・生産用・業務用機械(同+2.2%)等は増産となった。一方、電子部品・デバイス(同-2.5%)、食品・たばこ(同-2.1%)、鉄鋼業(同-0.3%)等が減産となった。

結果、4-6 月期は前期比+2.1%と上昇した。これは 2016 年 1-3 月期から 5 期連続の拡大である。なお、製造工業生産予測調査によると、7 月は前月比+0.8%、8 月同+3.6%、いずれも増産が予測されている。

全国の鉱工業指数の推移(2017年6月まで)



(出所) 経済産業省「鉱工業指数」

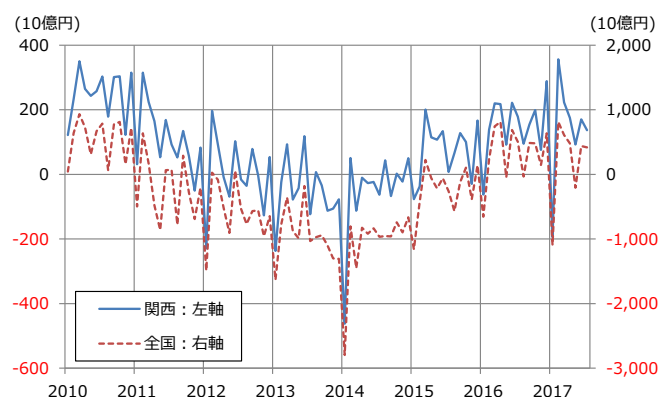
【貿易動向】

(1) 純輸出

貿易概況(速報値)によれば、関西7月の貿易収支は+1,370億円と6カ月連続の黒字となった。しかし、前年同月(+1,784億円)と比べて-23.2%と黒字幅は縮小し、2か月連続のマイナス。中国向けの科学光学機器を中心に輸出額が増加したものの、エネルギーをはじめとする輸入額も増加したためである。

また、全国の貿易収支(速報値)は+4,188億円となり、2か月連続の黒字だが、前年同月(+5,045億円)と比べて-17.0%と黒字幅は縮小した。

関西・全国の貿易収支の推移(10億円, 2017年7月まで)



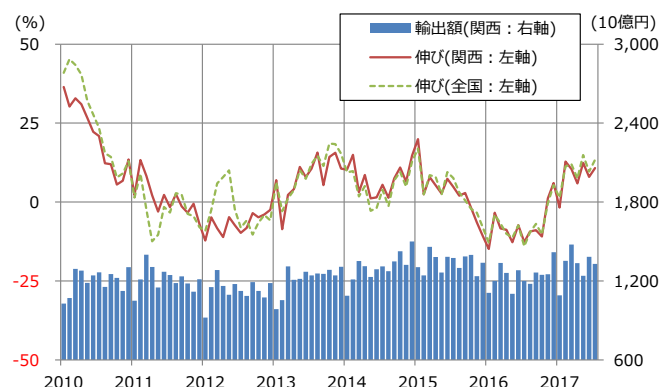
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(2) 輸出

関西7月の輸出額(速報値)は1兆3,293億円で前年同月比+10.8%と6カ月連続の増加。財別に見れば、科学光学機器、原動機等が増加した。

全国7月の輸出額(速報値)は6兆4,949億円で、前年同月比+13.4%と8カ月連続の増加。財別に見れば、自動車、船舶、自動車の部分品等が増加した。

関西・全国の輸出の推移(10億円, 前年同月比, 2017年7月まで)



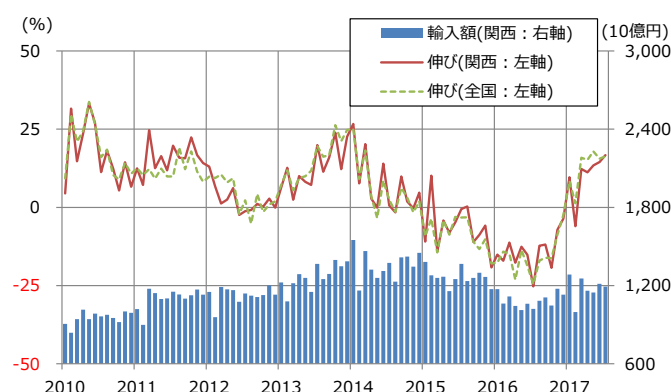
(出所) 大阪税関調査統計課「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」

(3) 輸入

関西7月の輸入額(速報値)は1兆1,924億円、伸びは前年同月比+16.7%と5カ月連続の増加。財別に見れば、天然ガス及びび製造ガス、原油及びび粗油等が増加した。

全国7月の輸入額(速報値)は6兆761億円、前年同月比+16.3%と7カ月連続の増加。財別に見れば、液化天然ガス、石炭、電算機類(含周辺機器)等が増加した。

関西・全国の輸入の推移(10億円, 前年同月比, 2017年7月まで)



(出所) 財務省「財務省貿易統計」

(4) 関西の地域別貿易

関西7月の貿易収支を地域別に見ると、対アジア(含中国)貿易収支は+2,399億円と6カ月連続の黒字となり、黒字幅は前年同月比+7.1%拡大した。輸出は6カ月連続の増加(同+11.1%)。財別に見れば、科学光学機器、半導体等電子部品が増加した。一方、輸入は5カ月連続の増加(同+12.6%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具、鉄鋼等が増加した。

うち、対中貿易収支は-301億円と5カ月連続の赤字となった。輸出は9カ月連続の増加(前年同月比+18.7%)。財別に見ると、科学光学機器、通信機等が増加した。輸入は5カ月連続の増加(同+12.3%)。財別に見ると、がん具及び遊戯用具、通信機等が増加した。

対米貿易収支は+669億円の黒字となり、伸びは2カ月連続の減少(前年同月比-7.7%)。うち、輸出は3カ月連続の増加(同+12.4%)。財別に見れば、原動機、医薬品等が増加した。輸入は8カ月連続の増加(同+30.1%)。財別に見れば、天然ガス及び製造ガス、半導体等製造装置が増加した。

対EU貿易収支は-141億円と4カ月連続の赤字となった。輸出は3カ月連続の増加(前年同月比+7.5%)。財別に見れば、有機化合物、科学光学機器等が増加した。輸入は5カ月連続の増加(同+19.2%)。財別に見れば、たばこ、非鉄金属等が増加した。

【消費者センチメント】

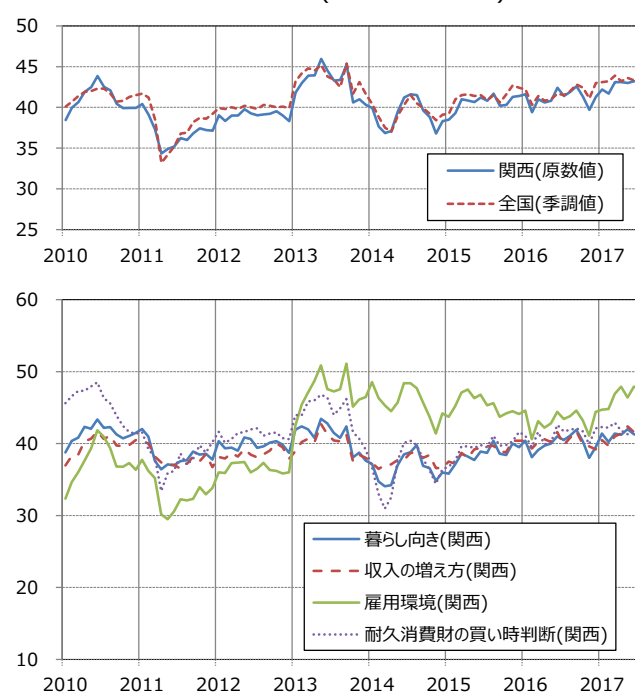
(1) 消費者態度指数の動向

関西の7月の消費者態度指数(原数値)は43.2と前月比横ばいとなった。一方、全国(季節調整値)は同+0.5ポイント上昇し43.8となり、2カ月ぶりに改善した。

関西の同指数構成項目を見ると、「耐久消費財の買い時判断」のみ前月比+1.1ポイント上昇した(2カ月連続)。一方、「収入の増え方」は同-0.4ポイント、「雇用環境」「暮らし向き」はいずれも同-0.3ポイント下落した。「収入の増え方」は2カ月連続、「雇用環境」は2カ月ぶり、「暮らし向き」は2カ月連続の、いずれもマイナスであった。

また、全国の同指数は3項目で改善した。項目別に見ると、「暮らし向き」が前月比+1.2ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同+1.0ポイント、「収入の増え方」が同+0.1ポイントそれぞれ上昇した。一方、「雇用環境」は同横ばいであった。野菜やガソリンの価格が落ち着き、株価も比較的安定していることが消費者心理の改善に寄与したとみられる。内閣府は基調判断を「持ち直している」として4カ月連続で前月から据え置いた。

消費者態度指数(2017年7月まで)



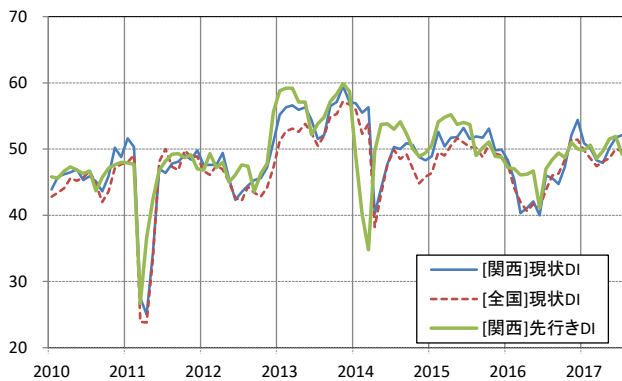
(出所) 内閣府「消費動向調査」

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の7月の景気ウォッチャー現状判断DI(季節調整値)は52.1と前月比+0.4ポイント小幅上昇し、3カ月連続の改善。景況感の良し悪しの分かれ目となる50を3カ月連続で上回った。消費者の節約志向は依然続いているものの、インバウンドによる消費が堅調だったこと、梅雨明け以降は気温が高めに推移し、季節商材の販売が好調だったことなどが上昇に寄与した。一方、全国の同指数は49.7で同-0.3ポイント低下し、4カ月ぶりの悪化であった。

また、先行き判断DI(季節調整値)は、関西では49.2と前月比-2.7ポイント大幅低下し、4カ月ぶりの悪化。好調なインバウンド消費や猛暑による季節商品の売上増加への期待は高いものの、酷暑による客足の減少や秋物商戦への影響等を懸念する声も多く、先行きは低下した。全国は50.3と前月比-0.2ポイント小幅低下し、こちらも4カ月ぶりの悪化であった。

景気ウォッチャー調査(2017年7月まで)



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

5月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は26万4,191円で前年同月比+0.7%となり、3カ月連続の増加。府県別では、和歌山県が同+2.8%(4カ月連続)、兵庫県が同+2.7%(8カ月連続)、奈良県が同+1.8%(6カ月連続)、京都府が同+1.3%(2カ月ぶり)、滋賀県が同+0.7%(6カ月連続)とそれぞれ増加した。一方、大阪府は同-0.6%(11カ月連続)と減少が続いている。

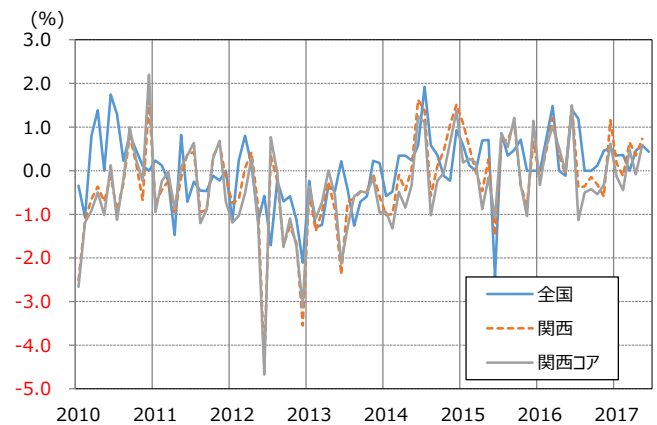
また、5月の京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は同+0.6%増加し、2カ月ぶりに改善したものの、依然として賃金の伸びは弱い。

全国の現金給与総額(確報値)をみると、6月は前年同月比+0.4%増加し、3カ月連続の改善。内訳をみると、所定内給与は同+0.5%と3カ月連続のプラス。所定外給与は同-0.1%と2カ月ぶりのマイナス。特別給与は同+0.4%と5カ月連続のプラスであった。賃金は緩やかな増加が続いて

いるが、力強さを欠いている。

一方、現金給与総額から物価上昇分(帰属家賃を除く総合)を除いた実質賃金は、前年同月比-0.1%と3カ月ぶりのマイナスであった。

現金給与総額(前年同月比、2017年6月まで)



(注)関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(2011年平均)で加重平均。

(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

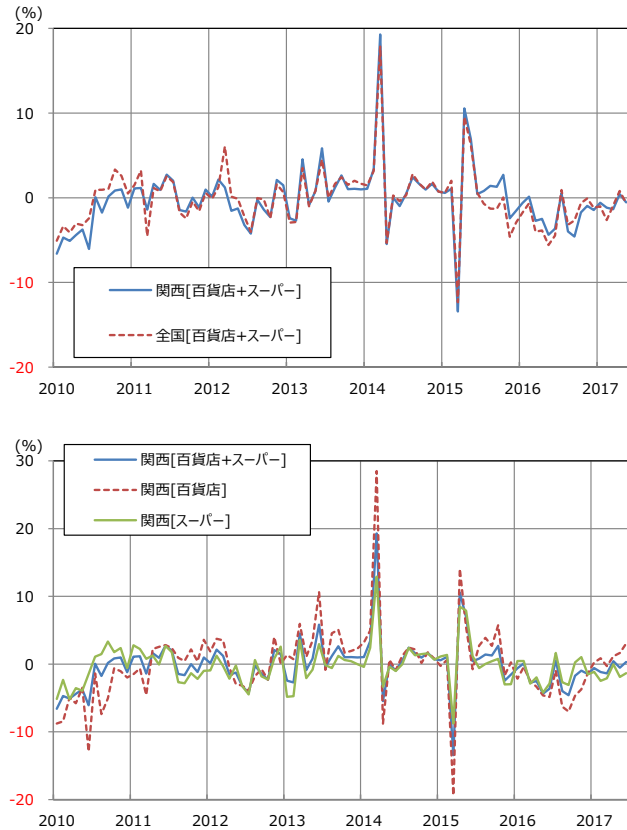
(2) 大型小売店販売額

関西6月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は3,049億円となり、前年同月比+0.3%と2カ月ぶりのプラス。百貨店は同+3.0%上昇し、3カ月連続のプラス。スーパーは同-1.3%と7カ月連続のマイナス。百貨店については、インバウンド需要の好調に加え、夏のバーゲンが6月末に前倒しされたことが売上に貢献した。なお、関西の百貨店免税売上(日銀大阪支店)によると、6月は前年同月比+69.5%(前月+71.3%)と7カ月連続で二桁の伸びを示しており、インバウンド需要が依然として大きい。スーパーについては、平年より気温が低く、夏物衣料と季節の農産物が苦戦した。

全国6月の大型小売店販売額(全店ベース)は1兆5,694億円と、前年同月比+0.1%と2カ月ぶりのプラスであった。なお、百貨店は同+0.2%と20カ月ぶりのプラス。スーパーは同+0.0%と横ばい。小売業販売額を指数化し季節調整した値の後方3カ月移動平均を見ると、前月比0.0%の横

ばいとなっている。これより、経済産業省は基調判断を「持ち直しの動きがみられる」と前月から据え置いた。

大型小売店販売額(前年同月比：％、2017年6月まで)



(注) 福井県を含む。(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(3) 新設住宅着工の動向

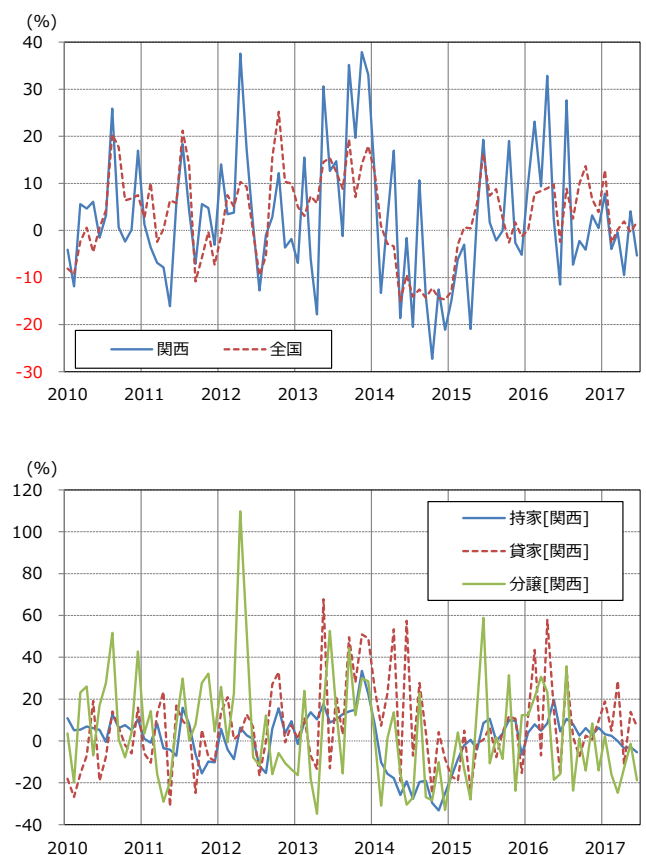
関西6月の新設住宅着工戸数は12,002戸と前年同月比-5.4%となり、前月(同+4.1%)から再び減少に転じた。一方、全国は87,456戸と同+1.7%増加し、2カ月ぶりのプラスとなった。その背景には、全国に大規模の分譲マンションが27.1%と大幅に増加したことが挙げられ、全体を押し上げた。

関西の住宅着工戸数を利用関係別にみると、持家は3,112戸で前年同月比-5.4%と4カ月連続のマイナス。分譲は3,771戸と同-18.8%減少し、5カ月連続のマイナス。一方、貸家は5,053戸で同+6.8%と2カ月連続の増加となった。4-6月期の新設住宅着工戸数は前年同期比-4.1%減少し、2四半期ぶりのマイナスとなった。その内、持ち

家は同-4.0%減少し、9四半期ぶりのマイナス。貸家は同+1.6%増加し、8四半期連続のプラス。一方、分譲は同-12.0%大幅減少し、5四半期連続のマイナス。

7月の関西のマンション契約率は、70.2%(季節調整値：APIR推計)。好調の指標となる70%を10カ月連続で超えているが、先月から-7.7%ポイント低下した。一方、首都圏は67.4%(季節調整値：APIR推計)と前月から+2.4%ポイント改善したが、2カ月連続で70%を下回っている。

新設住宅着工戸数(前年同月比：2017年6月まで)



(出所) 国土交通省「住宅着工統計」

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

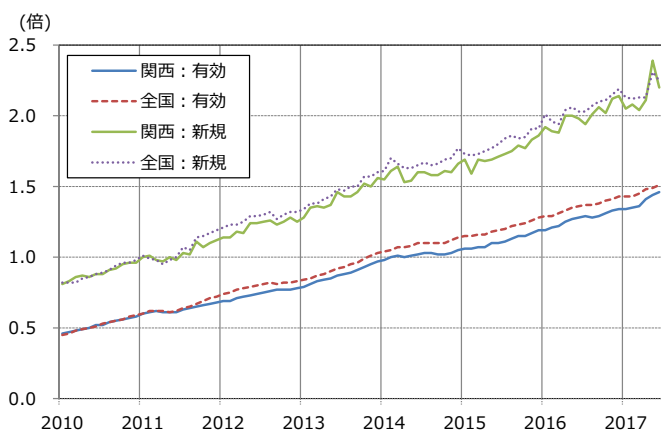
6月の関西の有効求人倍率は、1.46倍で前月比+0.02ポイント上昇し、5カ月連続の改善となり、高水準が続いている。内訳をみると、有効求職者数が前月比-0.2%小幅減少する一方、有効求人数が+1.2%増加しており、労働需給が引

き締まった状態が続いている。また、同月の全国は1.51倍で同+0.02ポイント上昇し、4カ月連続の改善となった。バブル期のピークである1990年7月(1.46倍)を上回り、1974年2月(1.53倍)以来の高水準が続いている。

関西の有効求人倍率を府県別にみると、奈良県を除いた府県で上昇がみられた。和歌山県が前月比+0.05ポイント、京都府で同+0.04ポイント、滋賀県・兵庫県で同+0.03ポイント、大阪府で同+0.01ポイントそれぞれ上昇した。一方、奈良県では同-0.02ポイント低下した。

また、6月の関西の新規求人倍率は、2.20倍で前月比-0.19ポイントと3カ月ぶりの低下となった。ただし、これは前月(2.39倍)の反動と見られ、雇用情勢は依然改善が続いているといえよう。また、6月の全国は2.25倍で同-0.06ポイントと4カ月ぶりの低下であった。

求人倍率の推移(季節調整値、2017年6月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(下表も同様)

関西2府4県有効求人倍率(2017年5-6月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
6月	1.51	1.46	1.31	1.56	1.58	1.30	1.27	1.33
5月	1.49	1.44	1.28	1.52	1.57	1.27	1.29	1.28

(2) 完全失業率の推移

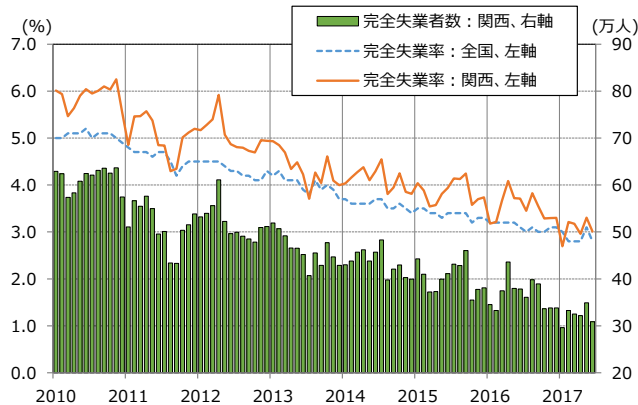
6月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR 推計)は3.0%と前月比-0.3%ポイント低下し、2カ月ぶりの改善。労働力人口の増加に加え、雇用者数が増加していることから、好調な雇用環境を背景に労働参加率の上昇が続いているとみられる。

また、関西の完全失業者数(季節調整値:APIR 推計)は30.9万人で前月から-4.0万人減少し、2カ月ぶりの改善であった。

6月の全国の完全失業率(季節調整値)は2.8%と、前月比-0.3%ポイントと4カ月ぶりの改善であった。

全国の完全失業者数(季節調整値)は189万人で前月から-16万人減少した。理由別にみると、「自発的な離職(自己都合)」が同-10万人減少し、「新たに求職」は-5万人減少、「非自発的な離職」は同-2万人減少していた。

完全失業率の推移(季節調整値、2017年6月まで)



(出所)総務省「労働力調査」

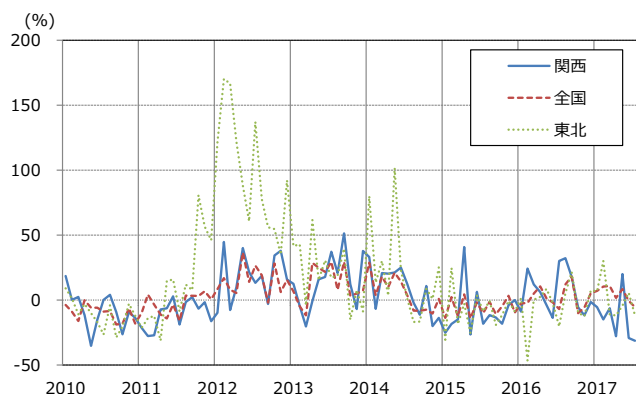
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

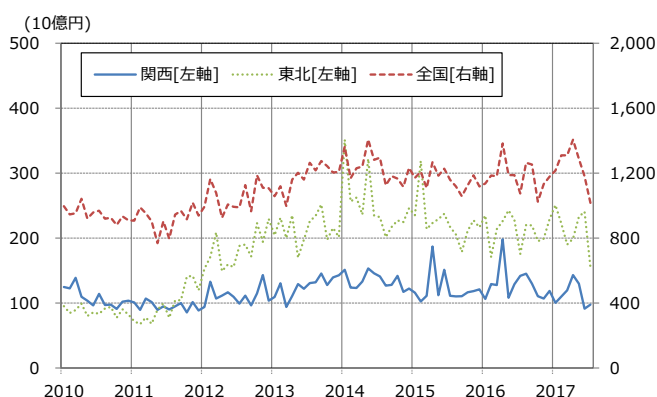
関西7月の公共工事請負金額は1,203億円で前年同月比-31.3%と2カ月連続のマイナス。全国は1兆2,888億円で同-5.4%と2カ月連続の減少。東北は1,877億円で同-11.7%大幅減少し、2カ月ぶりのマイナス。

季節調整値(APIR 推計)で見ると、関西は前月比+7.1%となり、3カ月ぶりのプラス。全国は同-13.8%と3カ月連続のマイナスとなった。7-9月期は補正予算の効果が剥落しよう。

公共工事請負金額(前年同月比、2017年7月まで)



公共工事請負金額(季節調整値、2017年7月まで)

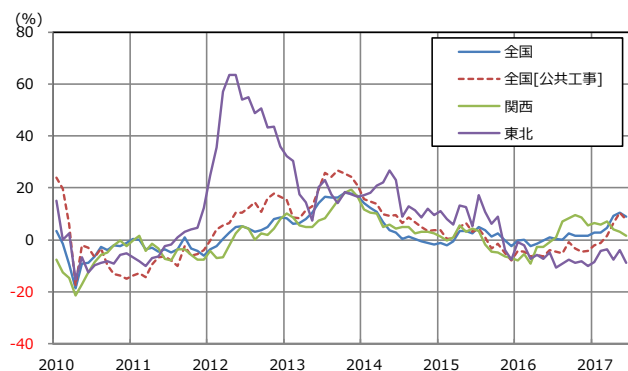


(出所)東日本建設業保証株式会社「公共工事前払金保証統計」

(2) 建設工事

関西6月の建設工事出来高は4,837億円となり、前年同月比+1.5%と12カ月連続の増加。東北については4,465億円となり、同-8.9%と20カ月連続の減少。

建設工事(前年同月比：%、2017年6月まで)



(注) 2016年4月分より新推計に基づく出来高の参考値を反映。

(出所)国土交通省「建設総統計」

全国6月の建設工事出来高は4兆959億円となり、前年同月比+9.0%と13カ月連続の増加。うち、公共工事は1兆5,051億円で同+7.7%と、4カ月連続の前年比プラス。関西の建設工事は、全国と同様堅調な動きが続いている。

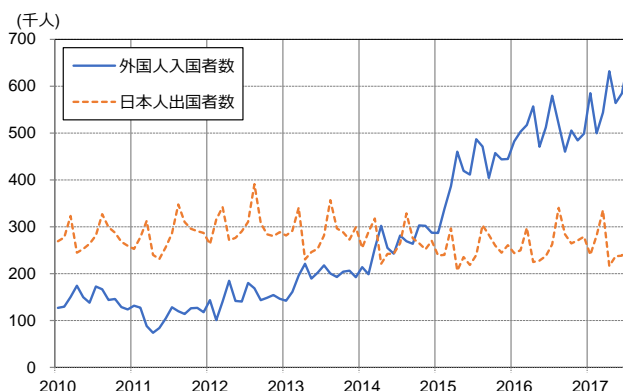
【関空モニター】

(1) 訪日外客数トレンド

7月の関空への訪日外客数は65万5,140人となり、前年同月比+13.0%と5カ月連続で増加した。また、4カ月連続で2桁増が続いている。出国外国人数は65万1,460人と同+13.2%増加しており、外国人旅客総合数(出入国合計)は130万6,600人と同+13.1%増加した。

また、出国日本人数は26万9,360人で、前年同月比+2.6%と3カ月連続で増加した。訪日外客数、出国日本人数ともに増加が続いている。

訪日外客数と出国日本人数(2017年7月まで)



(出所)一般財団法人関西空港調査会「KANSAI 空港レビュー」

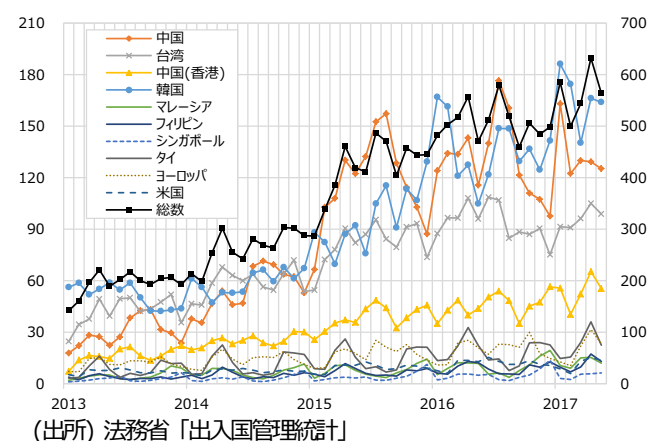
(2) 地域別訪日外客数

訪日外客数を地域別にみると、5月は韓国からの入国者数が16万3,941人と最も多く、前年同月比+56.4%と35カ月連続のプラスとなった。次いで、中国(香港除く)が12万5,179人と4カ月ぶりのプラス(同+8.3%)。台湾が9万8,831人と、4カ月ぶりのプラス(同+2.9%)。また、中国(香港)が5万5,399人と3カ月連続のプラス(同+26.7%)であった。韓国や香港を中心とした増便が旅客数の増加につながっている。

他のアジア各国からの入国者数は、タイが2万2,441人(前年同月比+1.2%)、フィリピンが1万2,992人(同+6.8%)、マレーシアが11,937人(同+0.2%)、シンガポールが6,355人(同+28.5%)となった。

他地域を見ると、ヨーロッパが2万3,292人(前年同月比+11.4%)、米国が1万3,729人(同+7.0%)であった。

地域別訪日外客数(2017年5月:千人、右軸:総数、左軸:各国)



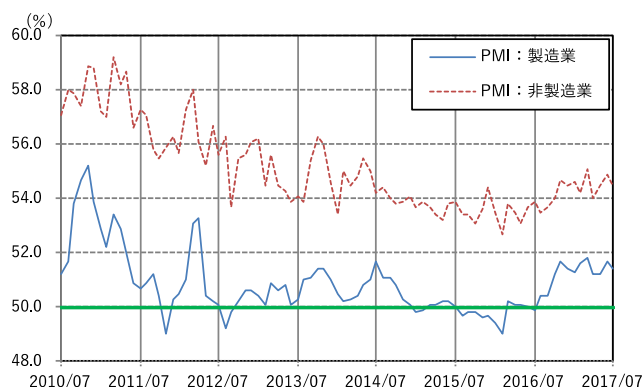
【中国景気モニター】

(1) センチメント

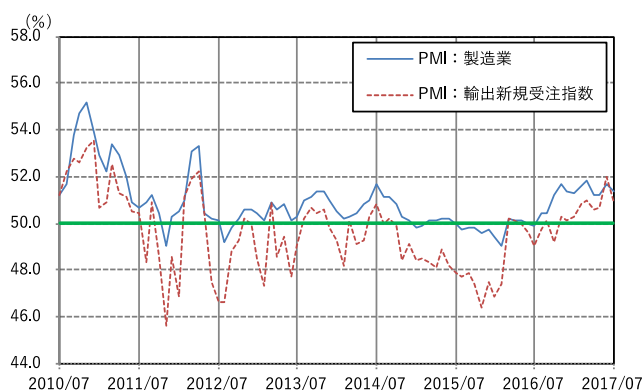
7月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は51.4となり、前月から-0.3ポイント下落した。4カ月ぶりの減少となったが、2016年8月以降、12カ月連続で景気判断の分岐点である50を上回っている。一方、非製造業購買担当者景況指数は54.5となり、前月から-0.4ポイント下落し、3カ月ぶりのマイナスとなった。

製造業 PMI のうち、生産指数は53.5となり、前月比-0.9ポイント低下し、2カ月ぶりの下落。輸出新規受注指数は50.9となり、同-1.1ポイント下落した(3カ月ぶり)。一方、雇用指数は49.2となり、同+0.2ポイント上昇した(2カ月ぶり)。

中国製造業・非製造業購買担当者景況指数(2017年7月まで)



中国製造業購買担当者景況指数(2017年7月まで)

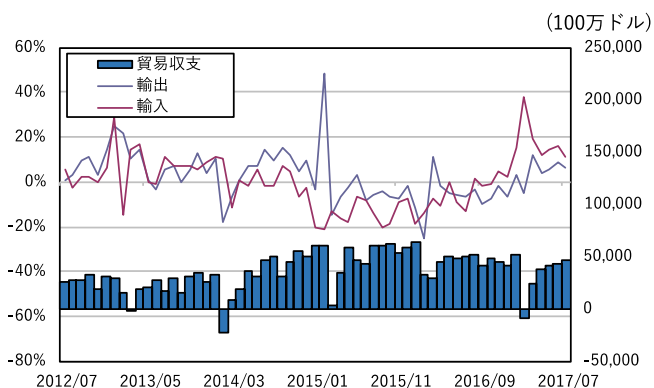


(2) 貿易動向

7月の貿易収支は+467.4億ドルとなり、黒字幅は前年同月より-34.9億ドル縮小し、貿易収支は12カ月連続で前年より減少した。うち、輸出額(速報値、ドルベース)は1,936.5億ドルとなり、前年同月比+6.0%と5カ月連続の増加。輸入額は1,469.1億ドルとなり、同+10.9%と9カ月連続で増加した。

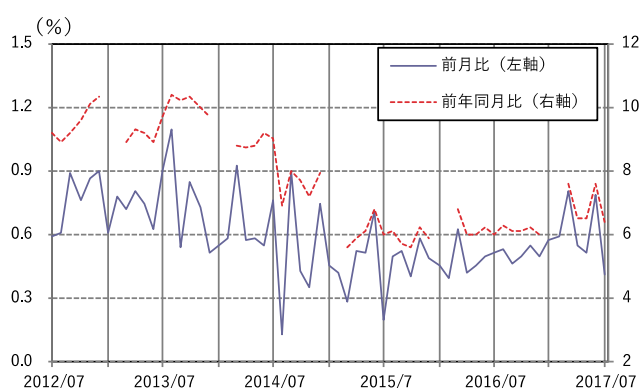
また、対日貿易収支は-23.8億ドルとなり、6カ月連続の赤字となった。対日輸出額は112.1億ドルとなり、前年同月比+6.6%と5カ月連続の増加。対日輸入額は135.9億ドルとなり、同+12.2%と12カ月連続で増加した。なお、円ベースで見ると、対日輸出額は同+15.4%と5カ月連続の増加。また、対日輸入額は同+21.5%と9カ月連続の増加であった。

中国の貿易動向 (ドル・ベース, 2017年7月まで)



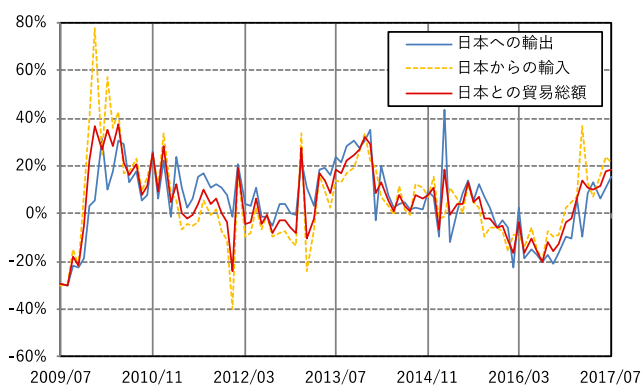
(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

工業生産指数(2017年7月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

日本との貿易 (前年同月比: 円ベース, 2017年7月まで)



(出所) 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

(3) 工業生産

7月の工業生産は前月比+0.41%となり、伸びは前月から-0.38%ポイント下落し、3カ月ぶりに減速した。また、前年同月比では+6.4%と、前月から-1.2%ポイント低下し、2カ月ぶりのマイナスとなった。

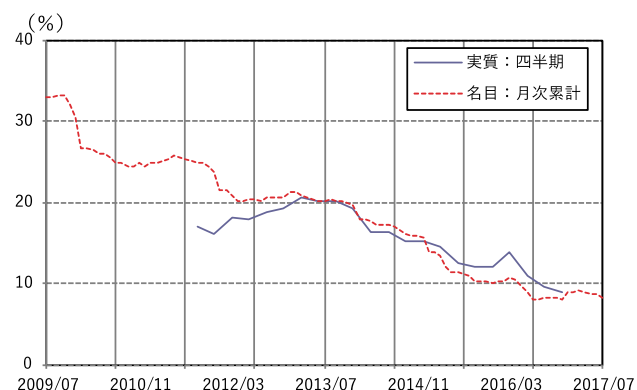
産業別に見ると、パソコン・通信設備製造業(前年同月比+11.8%)、専用設備製造業(同+11.9%)、自動車製造業(同+11.8%)、などが高い伸びを示す一方で、化学原料・製品製造業(同+2.3%)、有色金属圧延加工業(同+1.1%)、鉄鋼などの精錬・圧延加工業(同+2.1%)などは、比較的低調な伸びにとどまった。

(4) 固定資産投資

1-7月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+8.3%となり、1-6月期より-0.3%減速した。

産業別に見ると、第1次産業は前年同期比+14.4%で、伸びは前月から-2.1%ポイント下落し、4カ月連続のマイナスであった。一方、第2次産業は同+3.4%となり、伸びは同-0.6%ポイント下落し、3カ月ぶりのマイナスとなった。第3次産業は同+11.3%と、前月と同じ伸びとなった。

固定資産投資 (2017年7月まで) (累積伸び率)

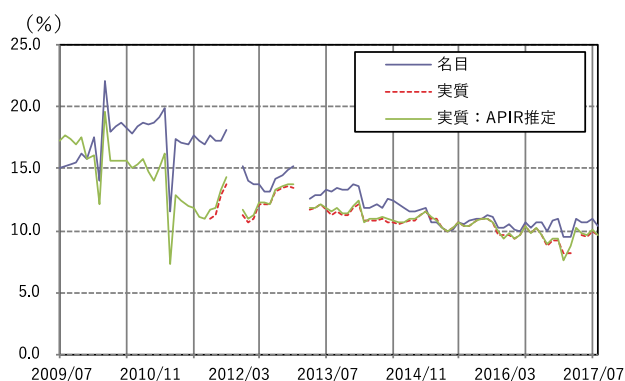


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 消費

7月の社会消費品小売総額(名目)は前年同月比+10.4%となり、伸びは前月から-0.6%ポイント下落し、2カ月ぶりの減速。一方、社会消費品小売総額の実質値(APIR 推計)を見ると、伸びは同+9.7%となり、前月から-0.4%ポイント下落した。

社会消費品小売総額成長率の推移 (2017年7月まで)



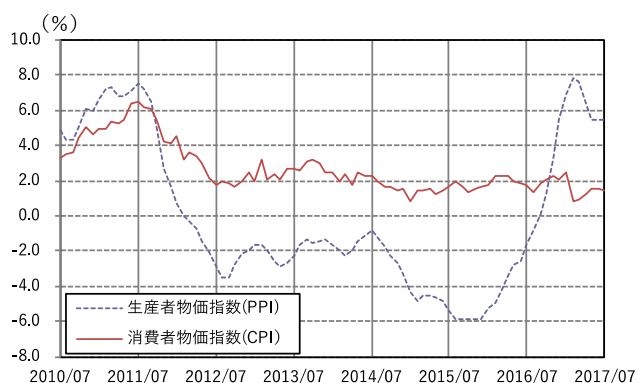
(注) APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(6) 物価水準

7月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+1.4%上昇し、前月より-0.1%下落した。また、生産者物価指数(PPI)は同+5.5%となり、11カ月連続のプラスだが、3カ月連続で同じ伸びとなった。

消費者物価指数と生産者物価指数の推移(2017年7月まで)

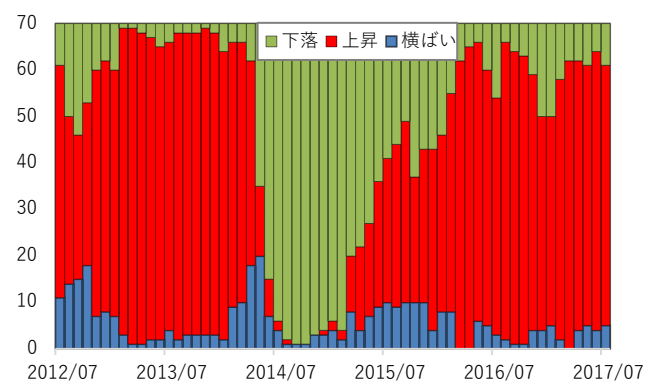


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(7) 不動産市場

7月の不動産市場は先月ほどではなないが、好調が続いている。不動産価格(新築住宅価格)を見ると、中国主要70都市のうち、前月比で上昇したのは56都市(前月60都市)、下落したのは9都市(前月6都市)、横ばいが5都市(前月4都市)であった。

新築住宅価格の主要都市集計 (2017年7月まで: 都市数)

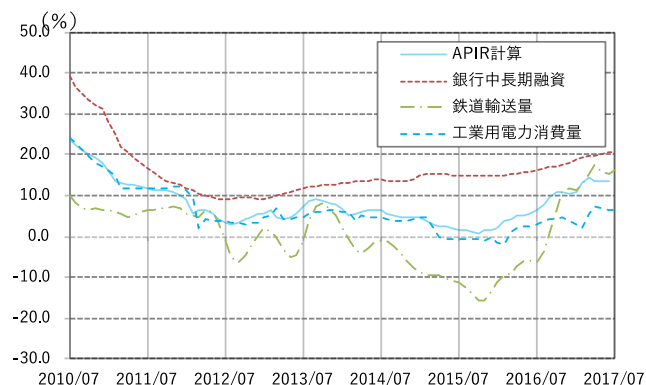


(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

(8) リコノミクス指数

7月のリコノミクス指数(APIR 試算)は前年同月比+13.7%となった。伸びは前月から+0.2%ポイント小幅上昇し、3カ月ぶりのプラス。内訳をみると、銀行中長期融資は同+20.4%となり、前月と同じ伸びとなった。鉄道輸送量は同+16.0%となり、伸びは前月から+0.7%ポイント上昇し、3カ月ぶりのプラス。工業用電力消費量は同+6.3%となり、伸びは前月から-0.1%ポイント小幅下落し、3カ月連続のマイナスとなった。

APIR 試算のリコノミクス指数とその内訳(2017年7月まで)



(出所) 中国国家统计局; CEIC データベース

Contact : 木下祐輔・生田祐介・Cao Thi Khanh Nguyet

Tel. 06-6485-7694,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	16/7M	16/8M	16/9M	16/10M	16/11M	16/12M	17/1M	17/2M	17/3M	17/4M	17/5M	17/6M	17/7M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	46.0	45.6	44.7	47.3	52.1	54.4	50.9	50.1	48.3	47.9	50.1	51.7	52.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	47.0	48.4	49.4	48.7	51.0	50.0	49.8	50.6	48.6	49.7	51.5	51.9	49.2
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、季節調整値)	43.8	46.0	46.3	48.4	51.4	51.4	49.8	48.6	47.4	48.1	48.6	50.0	49.7
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、季節調整値)	46.9	48.6	49.4	50.3	51.3	50.9	49.4	50.6	48.1	48.8	49.6	50.5	50.3
消費者心理・小売													
[関西]消費者態度指数(原数値)	41.4	41.9	42.6	41.3	39.7	41.3	42.2	41.7	43.1	43.1	43.0	43.2	43.2
[関西]"暮らし向き(原数値)	40.5	41.1	41.9	40.3	38.0	39.5	41.4	40.2	41.4	41.2	42.0	41.3	41.0
[関西]"収入の増え方(原数値)	39.8	40.8	41.7	39.9	39.6	39.2	40.5	39.7	41.0	41.4	42.4	41.6	41.2
[関西]"雇用環境(原数値)	43.4	43.8	44.6	43.2	41.1	44.4	44.7	44.8	46.9	47.9	46.4	47.9	47.6
[関西]"耐久消費財の買い時判断(原数値)	41.7	41.9	42.1	41.7	39.9	42.1	42.3	42.2	42.9	41.8	41.3	41.8	42.9
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	41.5	42.0	42.8	42.4	41.1	43.0	43.1	43.2	43.9	43.2	43.6	43.3	43.8
[関西]大型小売店販売額(10億円)	339.6	302.8	284.2	311.0	323.8	406.5	330.9	286.6	313.8	304.4	309.0	304.9	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.5	-4.0	-4.6	-1.7	-1.0	-1.4	-0.6	-1.2	-1.4	0.4	-0.5	0.3	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1,721.0	1,554.0	1,470.5	1,596.6	1,647.9	2,067.6	1,674.3	1,449.3	1,631.1	1,558.3	1,588.1	1,569.4	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.9	-3.2	-2.7	-0.7	-0.1	-1.2	-1.0	-2.6	-0.9	0.8	-0.6	0.1	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	13,028.0	11,580.0	11,435.0	12,346.0	12,257.0	11,079.0	11,409.0	10,639.0	11,795.0	11,812.0	11,115.0	12,002.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	27.6	-7.3	-2.2	-4.1	3.2	0.5	7.8	-4.0	-0.4	-9.5	4.1	-5.4	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	85,208.0	82,242.0	85,622.0	87,707.0	85,051.0	78,406.0	76,491.0	70,912.0	75,887.0	83,979.0	78,481.0	87,456.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	8.9	2.5	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	-2.6	0.2	1.9	-0.3	1.7	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	70.8	73.8	69.1	70.9	73.7	72.7	81.2	76.5	70.9	78.3	76.4	77.9	70.2
[関西]マンション契約率(原数値)	74.6	73.8	68.1	71.8	75.4	69.2	75.1	74.5	73.3	78.2	79.9	80.2	73.6
[全国]マンション契約率(季節調整値)	60.2	68.9	73.2	64.0	61.3	79.6	63.7	67.2	64.0	66.5	79.3	65.0	67.4
[全国]マンション契約率(原数値)	63.3	66.6	72.0	61.6	62.5	76.6	61.6	68.4	66.2	66.3	79.9	67.2	71.9
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	175.1	136.4	151.7	116.3	75.4	95.8	60.9	68.1	118.1	201.8	147.3	122.4	120.3
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	30.1	32.2	18.0	-5.5	-11.7	-1.5	-5.4	-14.9	-6.2	-27.8	20.0	-29.2	-31.3
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1,361.8	1,247.3	1,471.6	1,127.3	822.0	851.4	699.7	769.3	1,485.9	2,064.6	1,242.1	1,518.5	1,288.8
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	-6.9	12.7	18.1	-10.0	-5.7	5.3	7.1	10.4	10.9	1.7	8.5	-0.6	-5.4
[関西]建設工事(総合、10億円)	496.6	530.6	551.5	580.6	597.5	599.1	589.8	583.1	557.2	470.9	4,651.4	483.7	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	0.9	6.9	8.2	9.6	8.7	5.7	6.6	5.7	7.1	3.9	3.0	1.5	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3,943.7	4,185.3	4,503.7	4,704.9	4,767.6	4,795.4	4,727.3	4,636.8	4,607.2	3,902.3	3,903.1	4,095.9	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	0.5	0.0	2.6	1.6	1.5	1.6	2.8	2.9	4.5	9.1	10.5	9.0	UN
[全国]建設工事(公共工事、10億円)	1,478.2	1,626.0	1,849.8	1,999.0	2,034.4	2,068.4	2,049.1	2,008.4	2,036.8	1,450.6	1,428.6	1,505.1	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	-4.7	-5.3	-0.9	-3.3	-4.6	-4.3	-2.1	-1.2	1.7	6.4	10.3	7.7	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	102.3	104.0	106.5	105.5	107.6	109.5	105.8	108.0	107.7	110.2	106.1	107.8	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	-0.2	1.7	2.4	-0.9	2.0	1.8	-3.4	2.1	-0.3	2.3	-3.7	2.0	UN
[関西]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-3.3	2.8	4.4	1.3	9.1	6.0	3.7	4.2	0.9	4.6	4.0	5.1	UN
[関西]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	0.5	1.3	2.4	-1.7	-7.1	-5.1	-2.7	-2.6	-1.0	3.0	3.0	1.4	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	101.4	101.6	103.7	103.9	106.1	106.3	101.3	103.6	105.2	106.2	103.5	105.7	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、10年=100)	0.9	0.2	2.1	0.2	2.1	0.2	-4.7	2.3	1.5	1.0	-2.5	2.3	UN
[関西]"出荷指数(季節調整値、前月比)	118.6	119.7	120.8	115.8	110.0	112.1	115.1	115.5	117.5	122.9	124.3	122.0	UN
[関西]"在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.4	0.9	0.9	-4.1	-5.0	1.9	2.7	0.3	1.7	4.6	1.1	-1.9	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.0	98.3	98.6	98.9	99.9	100.6	98.5	101.7	99.8	103.8	100.1	102.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	0.0	1.3	0.3	0.3	1.0	0.7	-2.1	3.2	-1.9	4.0	-3.6	2.2	UN
[全国]"出荷指数(原数値、前年同月比%)	-3.8	1.8	0.8	-1.8	5.0	2.4	4.2	3.7	3.5	4.9	5.4	5.3	UN
[全国]"在庫指数(原数値、前年同月比%)	-2.4	-2.1	-2.7	-3.6	-5.5	-5.3	-5.0	-3.9	-4.0	-1.1	-1.3	-2.9	UN
[全国]"出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.0	96.2	96.8	97.9	98.9	98.9	97.8	99.2	98.4	101.1	98.2	100.7	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、前月比)	0.3	0.2	0.6	1.1	1.0	0.0	-1.1	1.4	-0.8	2.7	-2.9	2.5	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	110.5	110.5	109.9	108.5	106.6	107.3	107.4	108.1	109.7	111.3	111.3	109.1	UN
[全国]"在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.7	0.0	-0.5	-1.3	-1.8	0.7	0.1	0.7	1.5	1.5	0.0	-2.0	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.4	-0.4	-0.1	-0.3	-0.6	1.2	0.2	-0.1	0.6	0.4	0.7	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-1.1	-0.5	-0.4	-0.5	-0.3	0.6	-0.1	-0.4	0.5	-0.1	0.6	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	1.2	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	0.3	0.4	0.0	0.5	0.6	0.4	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	3.4	3.8	3.6	3.3	3.3	3.3	2.7	3.2	3.2	3.0	3.3	3.0	UN
[関西]完全失業率(原数値)	3.6	4.1	3.8	3.3	3.0	2.9	2.8	3.3	3.2	2.9	3.2	3.0	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	2.8	3.1	2.8	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.94	2.01	2.06	2.02	2.12	2.14	2.05	2.08	2.04	2.11	2.39	2.20	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	2.03	2.07	2.10	2.11	2.15	2.19	2.13	2.12	2.13	2.13	2.31	2.25	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	1.29	1.28	1.29	1.31	1.33	1.34	1.34	1.35	1.36	1.41	1.44	1.46	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	1.37	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	1.51	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	178.4	95.1	154.4	198.9	75.7	289.0	-193.8	356.5	222.8	175.2	93.4	169.7	137.0
[関西]輸出(10億円)	1,199.9	1,177.8	1,263.7	1,245.9	1,251.1	1,418.9	1,090.9	1,353.4	1,476.8	1,335.6	1,239.8	1,383.4	1,329.4
[関西]輸出(前年同月比%)	-12.7	-9.4	-8.9	-10.9	1.1	6.0	-1.7	12.8	10.4	5.9	12.4	7.9	10.8
[関西]輸入(10億円)	1,021.5	1,082.7	1,109.3	1,047.0	1,175.4	1,129.9	1,284.7	996.9	1,254.0	1,160.4	1,146.3	1,213.7	1,192.4
[関西]輸入(前年同月比%)	-25.2	-12.2	-11.9	-19.3	-7.2	-3.6	9.6	-6.0	12.3	11.2	13.4	14.5	16.7

注：鉱工業生産 輸送機械工業は鋼船・鉄道車両除く。

Release Calendar for July/August/September

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
31-Jul 中国製造業 PMI (7月)	1-Aug	2-Aug 消費動向調査(7月)	3-Aug	4-Aug 毎月勤労統計 (6月:速報値)
7-Aug	8-Aug 景気ウォッチャー調査 (7月) 中国輸出入 (7月:速報値)	9-Aug 近畿鉱工業生産指数 (6月速報)	10-Aug 近畿貿易統計 (5月確報) 近畿貿易統計 (6月確速)	11-Aug
14-Aug 中国固定資産投資 (7月) 中国工業生産 (7月) 中国消費品小売総額 (7月) 中国不動産市場 (7月)	15-Aug 全国鉱工業生産指数 (6月:確報値) 公共工事前払保証額 統計(7月) 商業動態調査 (6月:確報値) マンション契約率 (7月)	16-Aug 建設総合統計(6月)	17-Aug 全国貿易統計 (7月:速報) 近畿貿易統計 (7月速報)	18-Aug
21-Aug 出入国者数(7月)	22-Aug	23-Aug 毎月勤労統計 (6月:確報値) 中国輸出入 (7月:確定値)	24-Aug	25-Aug 出入国管理統計(6月)
28-Aug 近畿鉱工業生産指数 (6月確報)	29-Aug 求人倍率(7月) 完全失業率(7月)	30-Aug 新設住宅着工(7月) 商業動態調査 (7月:速報値) 全国貿易統計 (7月:確速)	31-Aug 全国鉱工業生産指数 (7月:速報値)	1-Sep